

# 設備集約による省エネの取組について

2016年10月 6日

(株)神戸製鋼所

## ◆神戸製鋼の概要

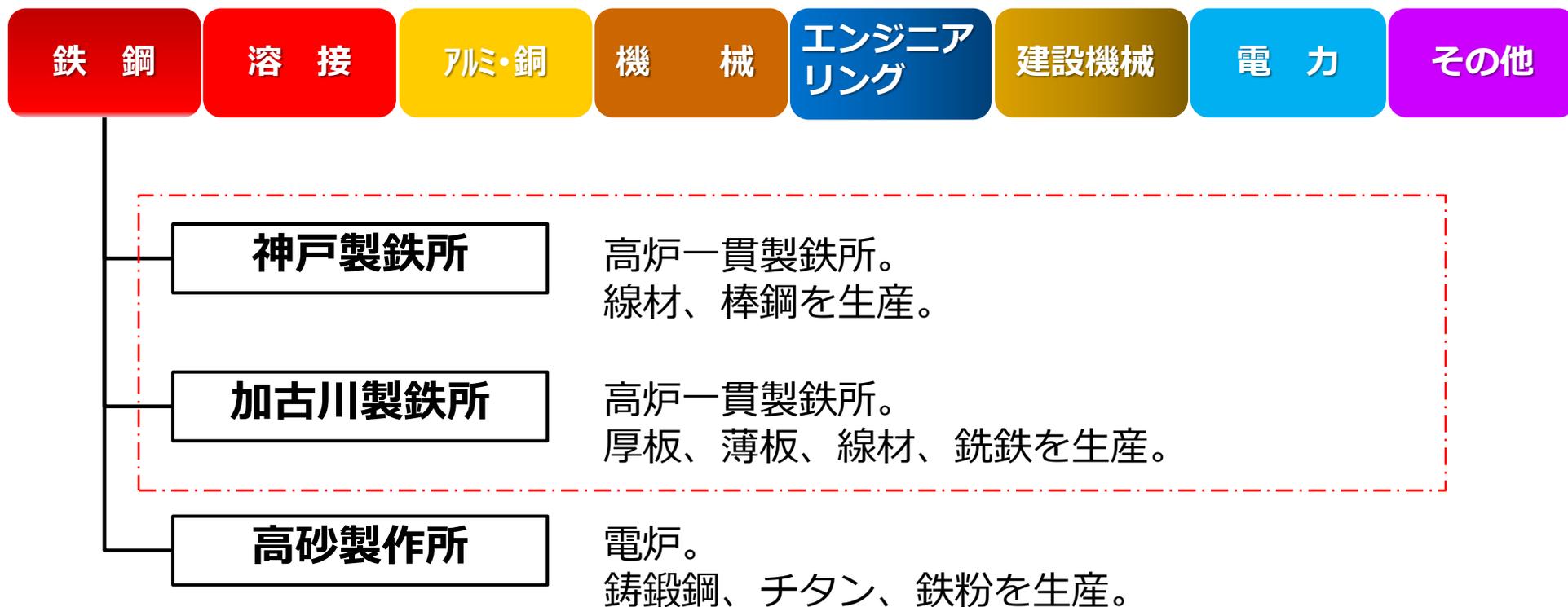
---

### 株式会社 神戸製鋼所の概要

<b>創 立</b>	<b>1905年9月1日</b>
<b>資 本 金</b>	<b>2,509億円（2016年3月31日現在）</b>
<b>売 上 高</b>	<b>18,228億円（2015年度）</b>
<b>子 会 社</b>	<b>212社（2016年3月31日現在）</b>
<b>従業員数</b>	<b>連結 36,338人（単体 10,833人） （2016年3月31日現在）</b>

# ◆神戸製鋼の概要

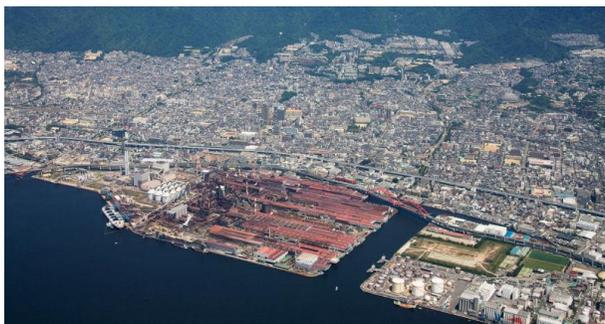
## 事業構成



## ◆製鉄所の上工程集約

- ・2017年に両製鉄所の製造工程を集約。  
神戸製鉄所の上工程を休止し、加古川製鉄所へ集約する。

### 神戸製鉄所



粗鋼生産120万ト/年(線材・棒鋼)

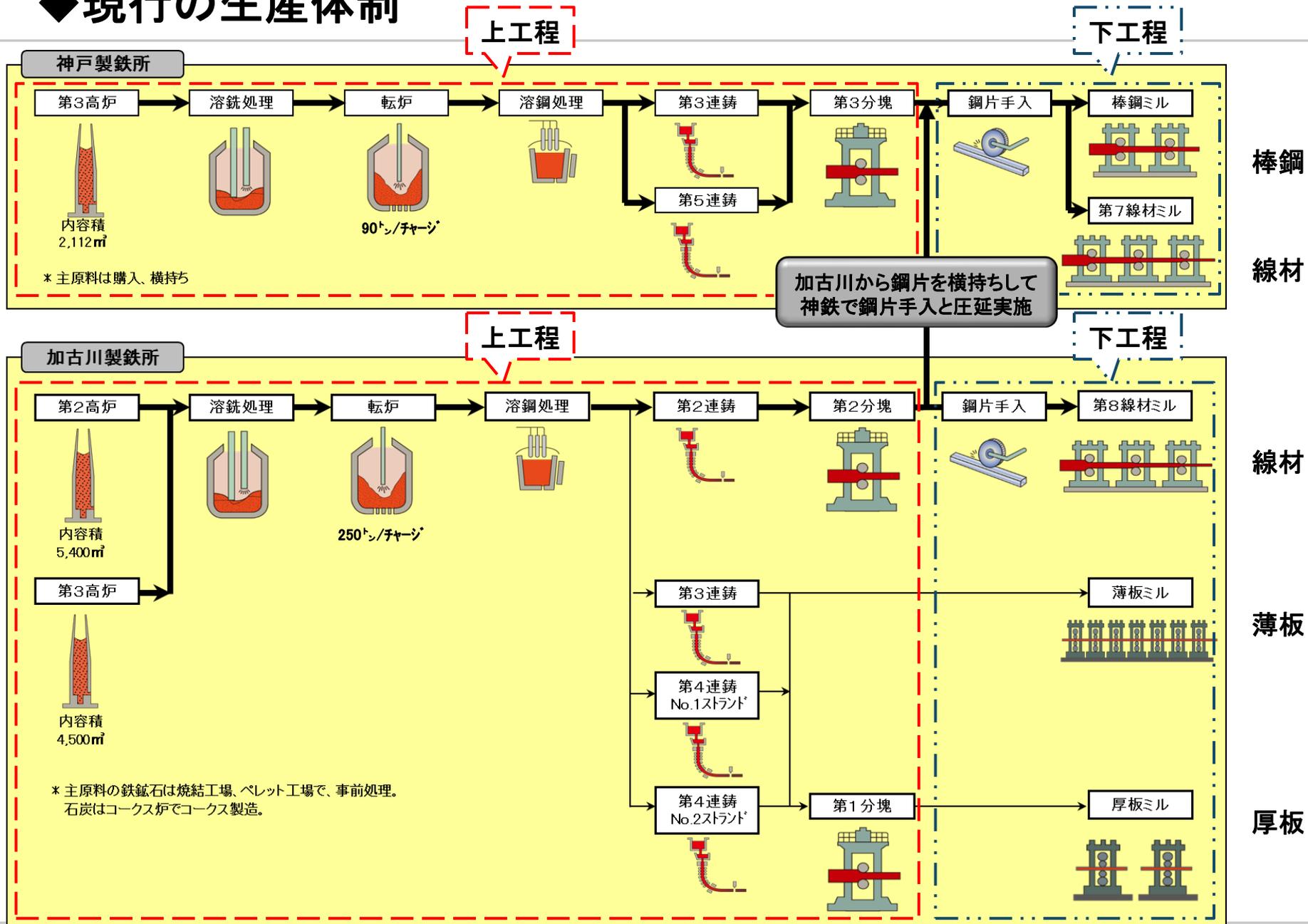
### 加古川製鉄所



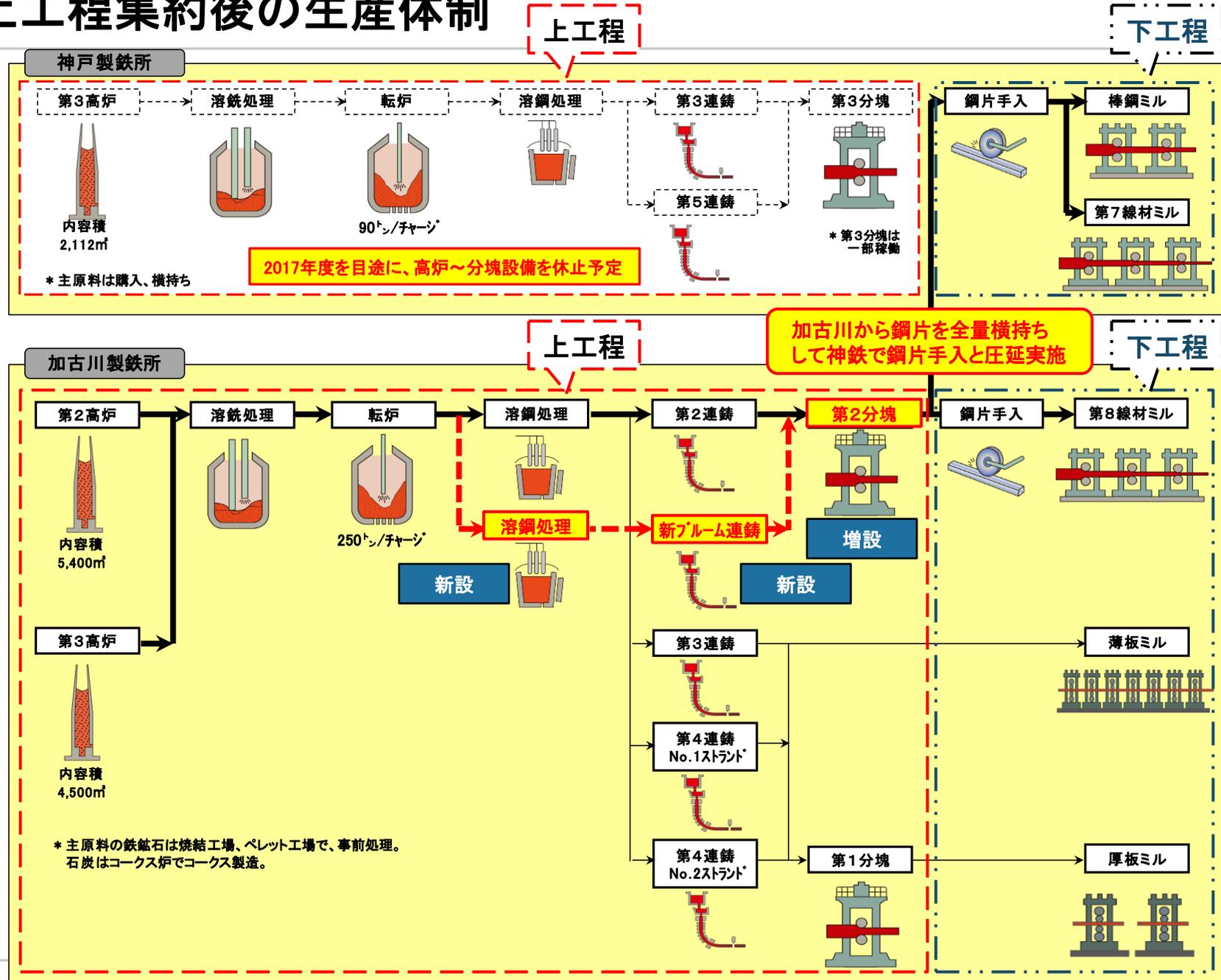
粗鋼生産580万ト/年(線材・薄板・厚板)



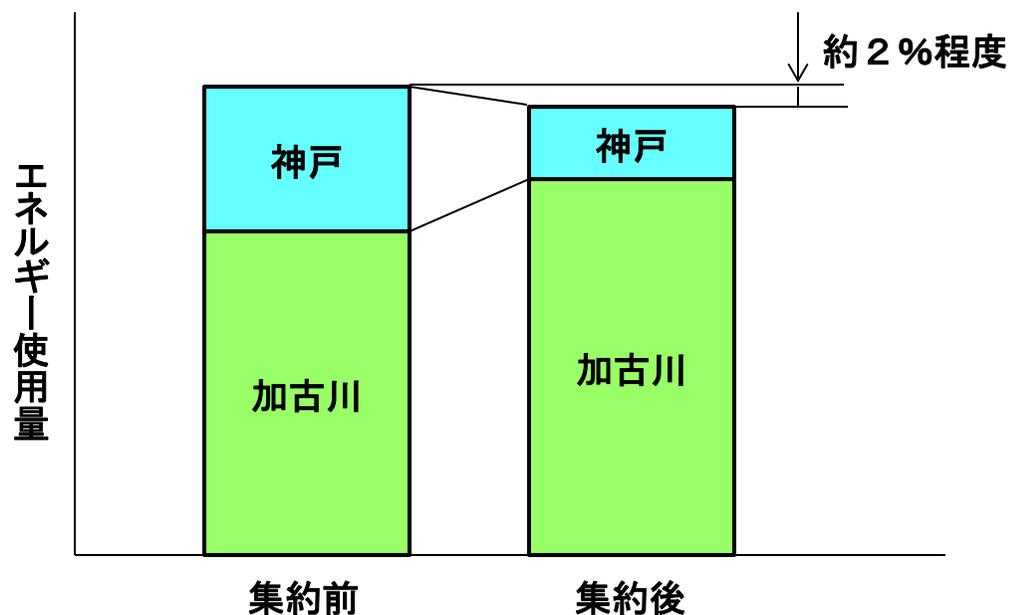
# ◆ 現行の生産体制



# ◆上工程集約後の生産体制



## ◆上工程集約による省エネルギー効果



- ・ 神戸製鉄所は上工程の休止により、大幅にエネルギー使用量が減少。
- ・ 加古川製鉄所は上工程の生産量が増加し、エネルギー使用量が増加するが、上工程の余剰設備能力解消、および最新鋭の連続鋳造設備溶鋼処理設備によりエネルギー使用量を削減。
- ・ その結果、神戸製鉄所と加古川製鉄所の合計のエネルギー使用量は減少する。

※神鉄と加古川の合計生産量が不変として試算